

2025 年 2 月 6 日

保護者の皆様へ

日出学園小学校

校長 荻原 巖

2024 年度学校評価アンケートの結果について

保護者の皆様には、平素より、本学園の運営、教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨年 10 月に実施した本年度「学校評価アンケート」の結果がまとまりましたのでご報告いたします。回答をいただいた皆様には、この場を借りて、ご協力に感謝申し上げますと共に、今回のアンケート結果の主要点、及び皆様から頂戴したご意見に対する学校の対応につき、以下の通り、お知らせいたします。

尚、早期の対応が可能な課題については、速やかに改善策を実施してまいります。

1. アンケート回収率

保護者回答率は 80.0%（対象者 620 名中 496 名）で、前年度比プラス 6.7 p t でした。より多くの保護者様のご意見を学校運営に生かすべく、次年度以降も是非多くの回答をいただきたくご協力をお願いいたします。

2. 中学進学について

5 年生で 38.7%、6 年生で 59.5%の方が内部中学校への進学希望と回答されました。まだ決めていないとの回答が低学年では半数近くになる傾向には変わりはなく、お子様の成長を見ながら進路を考えている方が多いようです。3 年生以上では、2 年前の段階での内部進学希望割合と比較して、3 年生は 26.8→29.9%、4 年生は 19.0→28.4%、5 年生は 39.5→38.7%、6 年生は 48.5→59.5%と 5 年生を除き増加しており、全体でも内部中学校進学希望割合が高くなっています。6 年生で内部進学を決めた理由としては、「在校生の雰囲気」の回答割合が保護者、児童とも高く、次いで保護者は「教育方針」、児童は「学校行事」を挙げています。他方、低学年の保護者からは、中学校・高等学校の学力向上への取り組みを含めた教育取組みの内容、大学進学実績等についての具体的な説明を聞きたいとの要望が多くありました。保護者には 2 学期末の懇談会で中学校説明会を予定していましたが、インフルエンザの影響でオンライン懇談会となりました。そのため、中学校広報担当者が作成した資料を YouTube で視聴していただけるよう準備しましたので学校 HP からご視聴ください。また、中学校広報部に問い合わせいただければ個別に案内をいたしますのでご利用ください。

3. 学校生活に満足しているか

約 97%が「学校生活に満足している」と回答し、理由として「友人との良好な関係」「先生との良好な関係」が上位に挙がることは例年と変わりありません。教員と児童、児童同士の人間関係がより重視され、学校が安心して楽しく生活できる場であることが窺われます。そのことから、約 98%の方が本校入学を薦めたいと回答いただけていると思います。逆に少数ですが「児童と先生との関係」で本校を薦められないと回答された保護者もおられます。ご指摘いただいた、「子どもへの関わり方」「授業の質の差」などについては、全教職員で共有し改善に努めます。尚、「困った時に相談できる教員やカウンセラーがいる」についての実現度も低いとの意見には、担任等からの児童への日頃の呼びかけを増やすと共に、保護者については、必要に応じての教員への照会、またカウンセラーへ照会を取るよ

う努めます。在校生全員が満足できる学校づくりを目指します。

4. 今後の本校に期待すること

回答割合の高い項目は「心の教育の充実」56.6%、「自主性を育む教育内容の充実」53.2%、「実践英語力」52.4%等です。道徳教育に加え、異学年だけでなく幼稚園、中学高等学校との交流活動を通していろいろな立場を体験し、思いやりのある心を育てるとともに、低学年ではドリル学習、中学年以上では学習アプリ「モノグサ」の有効活用により、自ら学ぶ姿勢を育てます。また、今年度より漢字検定だけではなく、算数検定、歴史検定、英語検定、JETなどの資格試験の受検機会を作り、自ら目標に向かって挑戦する力の育成に努めています。「実践英語力」については、少人数指導における習熟度別指導を1～4年生で継続し、それぞれの児童の英語力に合った指導と通じて実践的英会話力向上を図ります。

5. 重要だが実現できていない項目について

「自ら学ぶ姿勢」は昨年と同様に重要だが実現できていない項目の一つです。宿題をやるという義務感的な学習態度から、自ら課題を見つけ学習に取り組む姿勢が身につくよう資格試験への挑戦機会を増やします。いろいろな資格試験（英検、漢検、数検など）の挑戦目標を立て、一步一步目標をクリアして高見を目指す児童の育成を図ります。

6. 実現度が低かった項目について

「1日当たりの宿題の分量について」は昨年同様、他の項目に比べると実現度が低いという評価でした。宿題の分量は適切と、適切でないが分かれました。通塾している方は塾との両立、通塾していない方は家で机に向かう時間と背景・理由が分かれていると思われます。低学年と高学年、通塾と通塾なし等により、宿題に対する期待値が異なるので、バランスの良い分量及び学習内容の定着に必要な宿題の内容については引き続き検討をしてみたいです。また、宿題を学校で取り組んでも良いクラスと、いけないクラスとがあり、不公平感をお持ちの方もおられます。学年ごとに状況は変わりますので、再度確認し、同一学年内では統一した指導をいたします。

7. 自由回答の内容でこの紙面でお答えできること

- ① 給食の導入については、学園の基本方針が家庭でお作りいただいた弁当持参となっています。衛生面で心配という意見もいただきましたが、注文弁当及び持参弁当は、特に気温が高い時期には冷房の効いた場所に保管するようにしています。ご理解いただきますようお願いいたします。
- ② ランドセルについては学校保管の学用品と持ち帰る物の選別をして、児童の身体の負担軽減に努めています。基本的には置き勉（学習用具を学校の机及びロッカーに置いておく）としており、宿題がある場合のみ必要なものを持ち帰るようにしています。
- ③ 制服関係については、夏服にポロシャツ（男女とも）キュロットスカート（女子）を来年度より追加します。夏服期間はこれまでのジャンパースカート・半ズボン・Yシャツ・ブラウスとの組み合わせでバリエーションが増えると思います。盛夏服も着用期間を定めず夏服期間を通じて着用を認めます。冬服についてはウォッシュブルの生地に変更します。また、気候の変化に合わせ、更衣の時期も5月1日、11月1日に変更します。また要望が出ているレギンス着用については、ダボダボのものをなくタイトのように足にフィットしたものでしたら、この冬からすでに着用を許可しています。夏の日傘も同様に使用を認めています。
- ④ スクールバスについては、検討中です。
- ⑤ 土曜日及び短縮授業日を減らすことについては、2学期制の導入、短縮授業から通常授業への変更等

を含め、授業時数を確保した上で、教育課程の変更を検討しています。教育課程の変更については県許可取得が必要なため、方針が決まりましたらできるだけ早い時期に保護者の皆様にお知らせいたします。

- ⑥ 学校からの発信については、保護者の方の要望に合わせ、現在学年だよりを前月 20 日に BLEND での配信、学校ホームページへの掲載、児童への紙媒体での配布の 3 つの方法で同時にしております。それ以外は、保護者の方へは BLEND での配信、児童へはロイロノート及び連絡帳での連絡を基本としていますが、予定は早めに、また、直前での連絡になることがないように再度小学校教員内で共有します。

上記以外の自由回答内容も含め、学校評価の結果を教職員で共有し、皆様に満足いただける学校運営を目指してまいります。

今後も引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

以上